

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

快拳！

大宜味結 Guts 準優勝！！

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



朝倉市長杯第16回学童軟式野球大会

夏休み明けに行われた第26回ゆんたんざ杯で準優勝を勝ち取り、勢いのそのまま沖縄県代表として朝倉市長杯第16回学童軟式野球大会（8月5日（土）～7日（月）福岡県にて開催）に挑んだ大宜味結Gutsが見事準優勝に輝きました！

5日に行われた初戦では千年ドラゴンズ（福岡）に9対3、2回戦の香椎スカイスターズ（福岡）戦では9対6、準々決勝の福岡ジュニアファルコンズ（福岡）との10対3と着々と勝ち進み準決勝となるスターズ星野（福岡）には16対5の圧勝で決勝戦へとコマを進めました。

決勝は味坂クラブ（福岡）。濱元大晴さんが先制のホームランを放ち上々の滑り出しとなりましたが、相手も強豪チーム。結Gutsも粘りを見せ追い上げましたが、惜しくも準優勝となりました。

今大会を終え、6年生の平良玲旺斗さんは「優勝するつもりで臨んだ。試合中、失敗しても気持ちで負けないように声を出すことを心掛けた」と話し、濱元大晴さんは「決勝戦が一番印象に残っている。バッティングの優れているチームだったので苦戦したけれど、5点先制されても追い上げられたこと、自分のホームランで点を取り、チームを盛り上げられて良かった」とふり返りました。今大会ではチームの本塁打13本と強力打線を見せつけ、日頃の練習の成果を発揮しました。

大会結果を踏まえ宮城航大さんは「優勝を狙っていたので今回の結果は悔しかった。もっと練習を積み重ねて次の大会では優勝をしたい。また応援してほしい」と新たに気合を入れ、敢闘賞を受賞したキャプテンの福地洗楽さんは「教えてくれたコーチ、試合や練習でサポートしてくれた保護者、応援してくれた村民の方たちなど多くの方の協力があったので準優勝することができた。ありがとうございます。次の北部支部山浩杯に向けしっかり練習をして優勝を狙うので応援してほしい」と意気込みました。

県代表として大きな大会で準優勝という素晴らしい成績を収めてくれた大宜味結Guts。日々の練習で着々と力を付け、結果を残してくれるでしょう。結Gutsのこれからの活躍に期待します。

夏のわんぱくと言えばこれ！ 令和5年度わんぱく体験団 第3弾「わんぱくキャンプ 2023」

7月17日（木）～18日（金）、令和5年度わんぱく体験団第3弾「わんぱくキャンプ 2023」が開催されました。コロナもだいぶ落ち着きテントでの宿泊も今年から解禁となり、久しぶりのキャンプ。そして、わんぱくキャンプと言えば、電気もガスもなく水はあるけれど、飲み水としては使わない、ないないづくしの森の中で行うちょっとハードな活動。

果たしてわんぱくたちはこの過酷（言い過ぎ…）な環境に耐えられるのか？帰り出したいと泣き出す子が出てくるのでは？などと心配していましたが、ここに来て台風6号の影響が…。事前にキャンプ地の草刈りをしてきたのですが、キャンプ地近くにちょっと危なそうな場所が見つかり、100%安全に森の中でのキャンプができないと判断し、急ぎよ里でのキャンプに変更となりました。開始早々、わんぱくたちに残念なお知らせ（ホッとした人もいたり!?)となりましたが、ともあれわんぱくキャンプスタートです。



準備から自分たちでやるのがわんぱくキャンプの基本。まずはテントや電灯、調理用具など必要のものを準備します。久しぶりに使うものがほとんどなので、しっかり洗浄も。道具が準備できたら、お昼ご飯です。今回は改善センターの中庭でキャンプをするので、この段階でほとんどの準備ができています（テントは日が落ちて涼くなってから）。時間がたくさんあるので、やんばるの自然や昔の生活について学びに東村立山と水の生活博物館へ…。



博物館から帰ってきたらご飯の準備。改善センターの中庭で火を使うのは怖いので、今回は調理室を使っの夕食づくり。カレーにするかシチューにするかもカレーに入れる野菜の数は事前に班で話し合っています。中には玉ねぎを1つも入れない班も…。

ご飯はコンロの上で飯ごう炊飯。ここで飯ごうの使い方を学びます。米の炊けるタイミングは音と振動から見極めます。しっかり火は通っている？焦げすぎている？おいしく炊けた？すべては自分たちの責任です。

夕食が済んだらよいよテントの準備。真っ暗になる前にたてよう自分たちの寝床。多少手こずりましたが、なんとかテント完成（ホッ）。夜は特設の映画鑑賞や星空観察で楽しみました。

翌朝、眼目目をこすりこすり、朝ごはんの準備とテントの片付け。そして頑張ったご褒美と1日の汗を流しに田嘉里川へ。たくさん遊んで、終わってからの片付けもしっかりしたわんぱくたちたくさん思い出とともにぐったりしながら帰路につくのでした。

ようこそ、大宜味村へ♪ ジェームズ先生、ジェシカ先生着任

工夫をこなした授業で英語の楽しさを教えてくれた小学校のエリック先生、中学校のアナ先生に代わり、2学期からジェームズ先生がこども園、小学校、ジェシカ先生が中学校でALT（Assistant Language Teacher）として「外国語活動」の授業を見てくれることとなります。まだ日本に来たばかりの二人、できるだけ英語で話しかけてみましょう!! みなさん、よろしくお願いします。



James Ray Marti
好きな食べもの: フリート
ニューメキシコ州



名前: Jessica Linn Donoho
出身地: カリフォルニア州
好きな食べ物: たこ焼き

Ogimi is very beautiful and I am glad to be here. Everyone is so kind and friendly. There are also so many interesting things to learn about. I look forward to exploring the beautiful ocean and forests of Okinawa.

Hello, everyone!
I've really been enjoying my time in Ōgimi.
I hope to learn a lot about the area and meet new people.
If you see me around, please say "hello." よろしくおねがいします。

よろしくおねがいします。

二人からみなさんへのメッセージです。これも勉強、訳してみましよう!!

大宜味村スターリースカイ ～電気バスに乗って夏の星座に会いに行こう～ 開催

8月19日（土）、「大宜味村スターリースカイ～電気バスに乗って夏の星座に会いに行こう～」と題した星空観察会を開催しました。今年度第2回目となる今回は「やんばる電気バス」を用意し、応募のあった12名の参加者全員でビジターセンターから大保ダム、石



山展望台へと電気バスで移動しながら夏の星空を満喫しました。



観察途中、雲が出てきて星空が多少見え隠れした時間があったものの、全体的に星空を観察できる天候となり夏の大三角形や村内から見える夏の星空について学びながら、ゆっくりとした時間を過ごしました。

※大宜味村教育委員会では今年度において年4回の星空観察会を予定しております。次回の第3回目は11月の秋に予定しており、追って周知しますので参加希望の方はお見逃しなく!

大宜味村へようこそ！！「体験の翼」大宜味村・西会津町児童交流事業の再開

7月28日（金）～30日（日）の3日間、福島県西会津町から交流団（児童10名、引率5名）が来村し、大宜味村児童と西会津町児童との夏季交流会が実施されました。



この「体験の翼」交流事業は新型コロナウイルスの影響により約4年振りに事業再開となり、今年度の大宜味村の児童については小学6年生を対象に応募の

あった23名の児童で交流団を結成し、西会津町の同年児童と交流を深めました。

初日の歓迎式では少し緊張した様子の児童達でしたが、東村つづじエコパークでの宿泊や国頭村での自然学習、そして大宜味村でのマリン体験など交流プログラムを通して仲良く交流を深め、最終日のお別れ式の際には別れを惜しむ場面も見受けられました。



来年2月に、今度は当村の交流団が雪国の福島県西会津町を訪問します。

当村交流団のみなさん、また冬季も西会津町での交流を通して大宜味村とは違う文化などを学び、たくさん思い出を作りましょう！

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第7回 教育委員会会議 令和5年7月25日（火）午後2時開催

《審議事項》

- 議案第13号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について 《可決》
- 議案第14号 令和6年度使用中学校教科用図書の採択について 《可決》
- 議案第15号 令和6年度使用特別支援関係教科用図書の採択について 《可決》

図書室情報 No.49 2023年（令和5年）9月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ2,643人
- 貸出冊数…4,554冊
- 登録者数…158人

8月の統計（8/25まで）

- 来室者数…のべ46人
- 貸出冊数…79冊
- 現在の蔵書数…6,782冊

新着図書

- 『障害者支援員もやもや日記』 松本孝夫著
- 『方舟』 夕木春央著
- 『今日から始める本気の食料備蓄』 高荷智也著
- 『答えは市役所3階に』 辻堂ゆめ著
- 『もしもに役立つ、いつものモノ選び』 松永りえ著

9月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。体調の優れない方は、来室を控えてください。

バランスがキーポイント!? 一番と飛ばし屋は誰? ペットボトルロケット

8月14日（月）、大宜味小学校多目的室において大宜味おもしろ科学教室①「飛ばして遊ぼう! ペットボトル水ロケット」が開催されました。



まずはロケットづくり。500mlの炭酸ペットボトルが2本でロケットの胴体を作ります。牛乳パックや厚紙でフィン、厚紙とおもりと新聞紙でノズルコーン（ロケットの頭 三角の部分）を付ければ基本的なロケットになりますが、バランスよくフィンやノズルがコーンついていないときれいに飛ばないので、フィンの数やつける位置、ノズルコーンの大きさや中に入れるおもりをどのようにするか考えなくてはなりません。

参加者たちは試行錯誤しながらバランス良く、カラフルなテープで見栄えも良いロケットを作り上げました。飛ばす前にストリングテストをして安定して回ればOK♪

いよいよペットボトルロケット飛ばし大会開幕。みんなでグラウンドへ繰り出します。発射台におき、合図とともに次々に飛ぶペットボトルロケット。青空に向かって勢いよく飛んでいくロケットと楽しそうな参加者たちの姿が印象的でした。



小さい本体ながら思いのほかよく飛ぶペットボトルロケット。この日一番の飛距離は4年生の比嘉琉野さんが打ち出した62.5mでした。楽しみながら、創意工夫や科学について学ぶこともできた科学教室となりました。

葉脈ってこんなにきれい!? 植物をよく観察しよう! 葉脈スタンプカード

8月21日（月）、大宜味小学校多目的室において大宜味おもしろ科学教室②「身近な葉っぱがアートに变身♪葉脈スタンプカード」が開催されました。身の回りにたくさんある葉っぱ（植物）ですが、大きさや形に違いがあり、よく見ると葉のふちがギザギザになっていたり、たくさん線があったり様々です。その違いや面白さに気づくことができる今回の体験。



葉について学んだら、外に出て葉脈スタンプカードに使う葉を採集します。木や草、つるなど遊具広場だけでもたくさんの種類があり、参加者たちはおもしろい形や可愛い形の葉を探して採集しました。

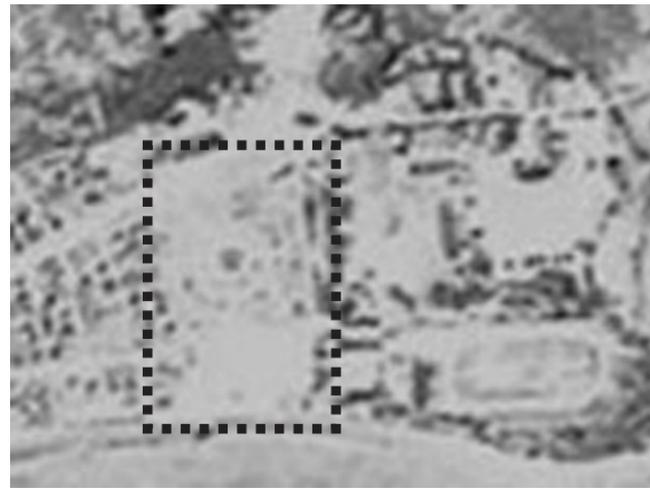
戻ってきたら、いよいよスタンプカード作成です。自分が見つけた葉の名前を調べたら、葉の裏（または表）にインクをポンポンとのせ、上から紙を置いて刷ります。紙をはがすとくっきりと見える葉脈。様々な形、模様、色のスタンプカードができました。カードができたなら、しおりや好きな形のカードを作成。大きな葉を刷ったり、1枚の葉で色を分けて刷ったり個性豊かな作品が次々に誕生しました。材料も簡単に揃えられ、家でもすぐできる葉脈スタンプカード。これからもどんどん試してみてください。



チャン公園造成

襲撃事件でただ1人生き残ったチャン少尉は、駐屯していた国頭村辺土名に、2人の戦友の死を悼み永く語り継ぐために、チャン公園を造成した。

この造成工事には大宜味・国頭・東村から毎日100人余が動員されたという。



空から見たチャン公園（囲み）、辺土名小学校（右上）、御大典記念運動場（右下）（1946年米軍資料：宮城樹正氏提供）

フリン図書館に金城清松の蔵書寄贈 一部は辺土名高校図書室に移される

1946年2月15日のチャン公園の落成式には、隣接する辺土名高等学校（現国頭中学校敷地）の全生徒が参列し、公園入口の記念碑前（元辺土名協同店・元ひかり医院付近）では、米軍が銃を空に向け礼砲を撃って祝った。

住民の土地を好き勝手に接収した約2100坪にも上る広大な土地には、一面に芝が植えられ遊具や池などを配置、辺土名高校男子部生徒たちの格好の憩いの場になっていたという。

チャン公園に併設されたフリン図書館はかまぼこ型のコンセプトで、大山一雄が清松の奥さんに働きかけて寄贈された金城清松の蔵書をはじめ、リーダーズダイジェスト等、地区の人々から寄贈された教育的価値のある書籍が沢山並べられていた。

それからしばらくして、辺土名高校は大宜味村饒波に移転、6月13日には男女共学がスタートする。10月21日に図書室が開設されると、活字に飢えた生徒達で図書室はいつも満席で、立ち読みする生徒も多かったという。金城清松の蔵書も一部が同校図書室に移されたそうである。

宮城樹正氏は金城清松寄贈本の来し方を調査しており、村民で高校生の時に金城清松の本を手にとったことがあるという方がおられたら、ぜひお話を聞かせていただきたいとの事である。



饒波に移転したころの辺土名高校

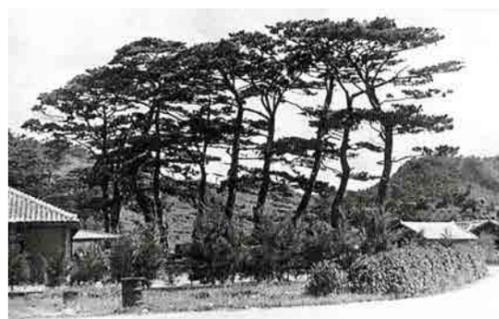
求む情報!! 高校生の時に金城清松の本を見た方はいませんか?

チャン公園の記念碑

これらの変遷を見つめて来たチャン公園とフリン図書館の二つの碑は、幾度かの変遷を経て、2023年現在「世神の宮（ユーガミヌミヤ）」の片隅にフリン図書館記念碑が安置されている。



世神の宮にあるフリン図書館碑



上：ドンカスターの子息と記念碑
1958～59年

左：記念碑が最初に移設されたターチマチー1955年頃。左端は辺土名警察署の瓦屋根。田井等警察署塩屋分署が1946年警察署に昇格も土地が狭いため辺土名に移転、辺土名警察署開設
(写真3点宮城樹正氏提供)



村史編さんだより

第149号 2023年9月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

喜如嘉の米兵狙撃事件と辺土名のチャン公園誕生秘話

喜如嘉幸地川橋の狙撃事件とチャン公園

1946年2月15日、辺土名の中心地にジョン・R・ドンカスターメモリアルパーク（通称チャン公園）が落成し、公園内のロバート・モリス・フリンメモリアルライブラリー（通称フリン図書館）に、喜如嘉出身の医師金城清松の本が寄贈され、その後、一部の本は辺土名高校へ運ばれたという。

いつもフットワーク軽く地域の宝を掘り起こし、有益な情報を提供して下さる国頭村辺土名在住で元国頭村史編さん副委員長の宮城樹正氏の資料を活用して、史実を検証してみたいと思う。

そもそも、チャン公園が設置された経緯は、1945年6月15日、喜如嘉で起った日本兵による米兵狙撃事件に端を発する。

この日、軍用車両でパトロール中の3名の米兵が幸地川橋を渡ろうとしたところ、山に潜んでいた日本軍の敗残兵に狙撃され2名が命を落とし、川伝いに逃げたチャン少尉1人が、軽傷を負いながらも命からがら助かったものである。

この事件は、福地廣昭著『村と戦争』（1975年）に詳しいが、『大宜味村史 戦争証言集』（2015年）にも、村民の生々しい証言が収録されている。



襲撃事件の現場となった幸地川橋（2023年8月）

狙撃事件に巻き込まれた村民の体験談

○喜如嘉：終戦後、（敗残兵の）伊沢曹長の命令で部落の人が見張りに立たされた。見張りの人の知らせで待ち構えていた敗残兵の狙撃により、幸地川橋で米兵が射殺された。米軍の仕返しにビクビクしていた喜如嘉の人達だったが、一人だけ生き残ったチャン少尉は、「命が助かったこの地に恩返し」という意味か、トラック一杯に積んだ米を部落中に配給していた。

○饒波：桃原に芋を掘りに行って浜伝いに歩いて帰って来る時、ちょうどこの撃ち合いの直後にぶつかり、血だらけの米兵が車に乗せられていた。びっくりしてアダンの茂みに隠れているところを米兵に見つかり取り囲まれた。自分は子どもだったから殺されはしなかったが、気が立っている米兵は足元にナイフをポンポン投げてきて恐怖で動くことも出来なかった。その後、今の火葬場付近にある三本松のところに、大兼久の人達と一緒に長時間拘束されていたが、「ヌーハ」といったら自分だけ解放された。



ギャラガー情報部長と福地廣昭氏 1945年11月18日（「村と戦争」より）この頃になると住民と米軍の間に交流が生まれていた

政信教育長のあじま～コラム



7月27、28日の両日、福岡県で開催された「全国幼稚園・こども園研究協議大会」において、おおぎみこども園での園経営について発表する機会をいただき参加してきました。その大会で京都大学の森口準教授による「子供の発達格差と幼児教育」という記念講演がありました。講話の中心は子供を取り巻く「安全基地」（安心の基地、避難場所）についてでした。この「安全基地」については数年前ある本で出会っているいろいろと調べた経験があったので興味深く拝聴しました。

学校ではほとんど言葉を発しないおとなしい子が、家庭訪問の際に別人のようによくしゃべったり、地域の中では、これもまた、学校では滅多に見ることができない自己を十分発揮したりしている姿に出会うことがあります。本村においても地域の豊年祭などにおいて、大勢の観客の前で子供たちがいきいきと活躍しています。人前での表現、発表は勇気があるものです。子供が不安を乗り越えたり、失敗しても新しいことにチャレンジしたりして自己を発揮できるのは、「安全基地」があるからだということです。多くの子供にとって、この「安全基地」となるのがまわりの大人です。

地域行事においては温かい地域の人という事になります。幼少期においては、それは「親」であり、その役割とは、子どもが自主的に挑戦しようとするのを、後ろからそっと支えてあげることです。一番大事なのは、見守ってあげること、見てあげること、見てあげることこそが「安全基地」のもっとも大切な要素だということです。子供が新しいことにチャレンジしようとしている場合、私たちまわりの大人は「見ているよ」というメッセージを送ることが大切だと思うのです。コロナ開けで地域行事や学校行事も活発になってきました。子ども達の活躍を温かく見守っていきましょう。

今月の生きもの

タイワンウチワヤンマ♂：サナエトンボ科



撮影：村山望

こんにちは、私タイワンウチワヤンマと申します。腹端が団扇（うちわ）状に広がっているところからこの名前が付いたんです。

よくオニヤンマと間違われてしまうのだけれど、オニヤンマは山地の河川源流部など人がなかなか行かない所において、私たちはダムや植生の豊かな池や沼など比較的にみなさんが身近に見られる場所に住んでいて大きさも私たちの方が一回り小さいんです。

もうオニヤンマって間違えられたくないから早く私の名前覚えて！

9月の行事予定

1日（金）区長会（小）授業参観・夏休み作品展	22日（金）ト一カチ（小中）授業参観日（園）保育参観日
2日（土）塩屋湾のウングミ	23日（土）秋分の日 わんぱく④ 大保ダムまつり・キャンドルナイト
3日（日）豊年踊り（中）久志駅伝	24日（日）村陸上競技大会（予備日）
4日（月）振替休日（9/9 運動会準備）	25日（月）（小）振替休日（9/30 運動会準備）
10日（日）中学校運動会	27日（水）交通安全推進村民大会
11日（月）振替休日（9/10 運動会）	28日（木）定例教育委員会議
16日（土）屋敷御願	29日（金）旧八月十五夜（中秋の名月）
17日（日）（中）運動会予備日	30日（土）こども園運動会
18日（月）敬老の日	（中）国頭地区陸上競技大会



9月9日 手巻き寿司の日

夏休み、お盆も終わり、9月からはウングミや各区の豊年祭や豊年踊りなどの伝統行事が始まります。久しぶりの開催となる豊年祭、豊年踊り。楽しみにしています。